

Risk Management

リスクマネジメント

基本的な考え方

当社グループは、経済的損失や事業の中断・停止、信用・ブランドイメージの毀損など、経営理念・経営目標・経営戦略の達成を阻害する可能性のある多様なリスクに対し、的確かつ迅速に対応することで、事業の継続性と安定的な成長を確保しています。

リスクマネジメント体制

事業リスクの発生回避や発生時の損害の最小化を図るため、「リスク管理規程」を定めるとともに、グループ全体のリスク管理・推進に関わる課題・対応策を協議する場として「リスク管理委員会」を設置しています。

リスクカテゴリ	想定されるリスク事象
コンプライアンス	- 法令・社内規程違反 - 財務報告の誤記載・誤情報の開示 - 物流業界問題への対処
食の安全	- 異物混入、不良商品の出荷、健康被害 - リコール(回収費用、レピュテーションなど) - 不当／虚偽表示
食肉の安定調達	- 家畜・家禽の疾病発生、生産停止 - 運航遅延、港湾ストライキ、通関トラブル - 電力、燃料、飼料、人件費高騰によるコスト高
食肉相場変動	- 仕入価格と販売価格の逆鞘による収益悪化 - 余剰在庫、滞留在庫の増加による収益圧迫 - 輸出入関税の変更による影響
海外事業・輸出取引	- 契約違反等による損害賠償 - 取引先からの債務回収不能 - 世界情勢の不安定化
SDGs・ESG	- 温室効果ガス(GHG)排出量削減の取り組み不足 - 開示不備等による投資家からの不信感、企業価値低下 - アニマルウェルフェアに対する取り組み不足
情報セキュリティ	- 情報漏洩(インサイダー・機密・顧客・個人情報など) - サイバー攻撃・ウイルス感染 - システムダウン(ネットワーク、電源の障害など)
人材・労務	- 過疎や高齢化に伴う、人員不足 - 会社や職務の魅力低下による人材の社外流出

モニタリング

「リスク管理委員会」は当社グループにおけるリスク管理の方針、体制および対策を検討するとともに、四半期ごとに顕在化したリスクなどの分析とリスク評価の見直し、その予防・再発防止策の確認・検討を実施し、取締役会に「リスク評価結果」を報告しています。

対策
- 経営トップ訓示、従業員教育拡充、現場指導、各種相談窓口の活用 - 内部統制の強化、人事ローテーションの実施、内部監査の実施 - 物流業務の効率化、拠点の再編
- 品質管理・保証体制の強化 - 外部認証制度(SQF)活用による品質管理水準の維持 - 情報共有の迅速化、商品(原料を含む)規格の定期的な見直し
- 安定供給に向けた仕入先の多様化、提携先農場との協力体制強化 - 輸入先国の情報収集、仕入先(パッカー／産地)の多角化 - エネルギー使用量の見える化による省エネ対策、省エネ効果の高い設備投資
- 適正在庫水準のモニタリング - 買越・売越商品の管理強化 - ブランド食肉、加工食品等、付加価値商品の販売拡大
- 品質基準等を契約書へ明記 - 外部情報等の活用、取引信用保険の利用、定期的な与信見直し - 支払決済条件の厳格化
- サステナビリティ委員会、GHG削減委員会によるGHG削減の取り組み強化 - 適切かつ積極的な開示 - 関連団体からの定期的な情報収集、設備の改修、従業員教育
- 従業員へのセキュリティ教育実施、規程の制定および周知徹底 - 情報システムのセキュリティの継続的強化、危機管理体制の整備 - ネットワーク会社の複数社契約、バックアップ機への切替訓練実施
- 人事委員会設置、機械化・省力化の推進 - 魅力ある職場の実現(インターナルブランディング活動、社内公募制度、コース別制度など) - 多様な人材の確保・活用